

学生の自主性育む環境の充実へ

広島経済大学 報

発行所
広島経済大学
広島市安佐南区祇園
五丁目37番1号
郵便番号731-0192
電話番号(082)871-1000(代)
ホームページhttp://www.hue.ac.jp/

- 2面 海外へも活動広がる若旅促進プロジェクト
- 3面 インターシップ体験報告/保護者会秋季役員会開催
- 4面 フレスタと共同でお菓子詰め合わせ商品開発
- 5面 就職活動体験記/キャリアアサンプター立町サテライトオフィス(仮称)設置
- 6面 平成26年度推薦入試結果報告/秋の叙勲

新施設「明德館」建設を計画

地下1階、地上10階の学びの場

本学では、学生が意欲的に学びや課外活動に取り組みめるよう、講義棟や図書館、興動館やクラブハウスなど施設・学習環境の整備にも力を注いできた。そうした環境のさらなる充実をめざし、学生同士が集い、学び合う新たな施設「明德館」の建設構想が本格的に始動した。ここでは新施設建設の目的や施設内部の一部を紹介する。

自主性と好奇心 高め合うために

現4号館、5号館の場

所に新施設「明德館」を建設する計画が進んでいる。本施設建設の大きな目的は、学生が自主的に集い、学び合う場を創出することにある。例えば、プロジェクト活動に取り組む学生には、講義以外の時間と場所を多く提供し、授業以外の学びの場として、図書館が挙げられるが、図書館はあくまで本から知識を得る場所であり、他者との対話の場ではない。学生同士が授業でわからなかったことを教え合ったり、ディスカッションしたりするなど、他者との対話のなかで知識を増やし学びを深めることは、豊かな人間性を涵養するためにはとても有意義なことと言える。そうした環境をすべての学生が享受し、自分を磨く場。それが「明德館」である。



計画中の新施設「明德館」

学生が輝く 「学びの塔」へ

設備としては、地下1階地上10階建てを予定。内部施設の構想としては、1階をイベントスペースとし、講演会や就職ガイダンス、学生の活動発表など、多様なイベントを開催できる広いスペースを確保する。2、3階は、興動館科目などのアクティブラーニング

に対応した教室を配し、4階には食堂を設置。5階は、教職員が学生の学習サポートを行うラーニングフロアに。さらに6、10階は学生センターフロアとして、ゼミ教員ごとに専用の机と椅子を設置。各ゼミに所属する1、4年次生が自由に集い学び合える場を提供する。

施設名「明德館」の名は、本学の立学の方針である「大学の道は明德を明らかにするにあり」に由来する。学生一人ひとりが学問研究を通じて本来持っている「明德」を磨き、前途のない本性を磨き、前途のない人間として自己を確立する場であり続けることを本学は信念としている。「明德館」が学生の明德を輝かせる知の塔になることをめざし、建設構想をさらに進めていく予定だ。

施設・設備の拡充 人工芝完備のフットボールパーク(仮称) 球技場部分完成

引き続き附属施設建設へ



完成した球技場部分

1面(106m×68m)とその内側にフットサルコート4面、高さ14mのネットフェンスとナイター照明が設置されている。引き続き附属施設建設のため、10月31日には地鎮祭が厳かに行われ、来年3月の完成に向け着工した。附属施設は鉄筋地上3階建て、延べ面積1044.68㎡。1階に更衣室3部屋、ミーティングルーム、スタッフルーム、2階に大小の更衣室4部屋および倉庫2部屋、3階に



建設中の附属施設

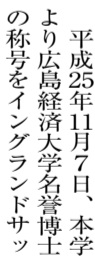
第2回国際スポーツサロン開催

イングラウンドサッカーの象徴 ボビー・チャールトン卿講演



サッカー人生をふりかえるチャールトン卿

平成25年11月7日、本学が国際的に活躍するスポーツ関係者を広島に招聘し、スポーツをテーマに講演する「第2回国際スポーツサロン」を国際会議場において開催した。講師



サー・ボビー・チャールトン

ボビー・チャールトン卿に 広島経済大学名誉博士の称号を贈呈

平成25年11月7日、本学より広島経済大学名誉博士の称号をイングラウンドサッカーの象徴ボビー・チャールトン卿に贈呈した。本学では、平成24年度より広島経済大学名誉博士称号贈呈規程を設けている。この「名誉博士」の称号は、本学における教育研究の発展に顕著な功績があった者、もしくは学術文化の発展又は社会貢献に関して顕著な功績があり、本学において顕彰することが適当と認められる者に贈呈する。チャールトン卿は、11月に開催した国際スポーツサロンに講演者として来学。彼のこれまでのスポーツ界における国際的な功績により、この度の贈呈となった。

いたプレイヤーであり、マインチェスター・ユナイテッドの最多得点記録保持者でもある。また「B(ボビー)」「S(サー)」の称号(イギリスの叙勲制度における榮譽称号)をもつ。日本でも2012(平成24)年に旭日小綬章を受章している。チャールトン卿は講演で、生い立ちからこれまでのサッカー人生について語り、また、「前を向いて進めば、良い結果が待っています。大切なことは、シュートを打たなければ得点することはできないということ。です」とメッセージを送った。講演会翌日の8日には、松井広島市長への表敬訪問や原爆死没者慰霊碑の参拝、原爆資料館の見学をされ、午後より本学においても在学生対象に授業をしていただいた。聴講したスポーツ経営学科をはじめとする多くの学生たちは熱心にメモをとるなどして、貴重な話に聞き入っていた。

若旅促進プロジェクトの取り組み

興動館プロジェクト

若者の旅行促進に取り組み、地域の観光振興に貢献する「若旅促進プロジェクト」は、本学が人間力育成のために設置している「興動館教育プログラム」の興動館プロジェクトの一つである。平成23年4月より中国運輸局と連携協定を締結し、「若者の旅行離れ」の問題分析や、若者層が参加しやすい旅行像、モデルコースを連携して検討したり、広島をはじめ、鹿児島や山口などの他県へも足を伸ばし、さらには海外と広島をつなぐ取り組みも実施するなど、活動のフィールドは年々広がっている。ここでは、その取り組みの様子を紹介する。

鹿児島カレッジ

鹿児島を訪ね、魅力を体験 若者向け観光ツアーを提案



伝統工芸を視察するメンバーたち

光プランのポイントには、単に島の景色や食事を楽しむ旅ではなく、島の人々との交流をメインにした企画であることだ。10月の中間報告会では、各大学の学生が体験実習を通して学んだことを企画にまとめて発表し、質疑応答では旅行プランをより魅力あるものにする意見が飛び交った。今後はさらに具体化した内容で成果報告会に臨む。学生ならではの視点で活かされた魅力ある観光プランの実現に期待したい。

広島市受託事業

外国人観光客に向け 広島の魅力発信



ワークショップの様子

高い感想が寄せられた。リーダーを務めた曾根一誠さん（経営学科3年・広島県・廿日市西高校出身）は、「多くの企業の方々にご協力いただき、参加者の皆さんに「人との出会い」の魅力を伝えることができ、また、私もツアーの運営者として人との出合いやつながりの大切さを実感しました。今回の経験を活かして、また新たなツアーを企画したいと思っています」と語った。

韓国ツアー

広島をフィールドに 日韓の親交を深める



韓国の学生に広島認知度調査をするメンバーたち

た。こうした経験を今後のプロジェクト活動に活かして盛り上げていきたいと思えます」とリーダーを務める三浦大河さん（経営学科3年・広島県・広島国際院高校出身）は語った。モデルコースは、市内の商店街での買い物やレンタルサイクルで広島を散策できるコース、マツダスタジアムでの野球観戦や東広島市の酒蔵巡りができるコースなどがあり、いずれも1泊2日で広島を満喫できる。コース案内の冊子は、観光案内所などで配布。広島観光の満足度をより高めていく施策が今後どれだけの成果を導くのか、大いに期待される。

本学、関西大学、神戸松蔭女子学院大学、清泉女子大学、和歌山大学の5大学の学生が、鹿児島県の観光地での体験実習を通して若者をターゲットにした観光ツアーの開発に取り組み「鹿児島カレッジ」JRW（日本と鹿児島県の共催）で、優秀な企画は実際の旅行プランとして採用される。本プロジェクトからは8名の学生が参加し、鹿児島県薩摩川内市（鹿児島）に「癒やし」をテーマとした観光プランを考案した。9月の体験実習では実際に鹿児島を訪れ、地元の方々と交流し、郷土料理や伝統工芸、絶景スポットなど魅力ある観光資源を自らの足で探した。



企業訪問で製品の説明を聞くメンバーたち

現地を訪れた山本圭太さん（経営学科3年・広島県・広島観音高校出身）は、「島の方々は道で人とすれ違う時に必ずあいさつを交わします。もちろん僕たち

西京銀行と中国運輸局の共催で、本プロジェクトの新しい活動として9月11日から9月13日の3日間、「若旅inやまぐち」が実施された。このツアーは就職活動を控えた大学生が対象である。「癒やし」をテーマとした観光プランを考案した。山口県内のオンラインワ

地域振興を兼ねた 就活ツアーの新スタイル

山口就活ツアー

山口県では「就職活動支援に貢献する内容になっている。山口県では「就職活動に対する考え方が変わってきた」「これからの就職活動に自信を持って臨めよう」といった感想が寄せられた。また、協力企業からも「次回も参加したい」「山口県を知ってもらおう良い機会になった」「この取り組みを今後、もっと拡大してほしい」など満足度の

外国人観光客向けの広島 観光コースを企画し、冊子を作成する取り組みが今秋から始まった。企画のキ

外国人観光客向けの広島観光コースを企画し、冊子を作成する取り組みが今秋から始まった。企画のキ

9月15日から21日の7日間、「リーダーシップ・チャレンジinサイパン」が開催された。これは、本学のほか8大学、1短期大学が連携する「西日本学生リーダーズ・スクール（UNGL）」（文部科学省 平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」の採択事業）の取り組みの一つである。



教育実習で授業アシスタントをする外田さん

「対象が外国人観光客という点で、若者だけでなく家族連れや年配観光客まで幅広い年代を視野に入れた企画を考えられたのはとてもいい経験になりました。」と語った。

今回のプログラムでは、外国で他大学の学生と協力しながらグループ活動に取り組む、リーダーシップを磨くことを目的としている。現地では小学校を訪問し、教育実習に取り組み、日本の建物や街並み、桜やアニメなどを写真で紹介したり、折り紙を折ったりして子どもたち

に日本文化を伝えた。初めて知る日本の文化に子どもたちは興味津々な様子で、授業は盛り上がった。2年生を担当した外田早悠実さん（経営学科4年・広島県・高陽東高校出身）は、「グループリーダーを任せられ、メンバー全員の意向向上に努めるなかで困難なところもありました。仲間との支えがあったから、仲間と協力して助け合うことの大切さを学ぶことができました」と笑顔で語った。学生たちは、こうした経験のなかで確かな成長を遂げている。

WAVOCSスタディーツアー

ケニア社会林業プロジェクト

「ケニア社会林業プロジェクト」は、森林面積率が極めて低く、乾燥地・半乾燥地であるケニアの生活消費による森林減少問題に対応するため、早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター（WAVOCS）と富山大学の共催で発足。ケニア政府と協力しながら緑化推進に取り組みしており、今年で10回目の開催となった。本学の興動館プロジェクトに携わる学生も数年前から毎年参加している。本学学生の取り組みは、マサイ族と協力して植林すること。マサイ族の人々の一日は、何キロも離れた川まで歩いて水汲みをすることから始まる。1日に使える水が限られている環境

平成25年度 前期学位授与式挙行



前期学位授与式の様子

卒業生たちは新たな門出の祝福を受け、式は緊張の中にも和やかな雰囲気の中に終了した。

平成25年度前期資格・能力等表彰者

●税理士試験会計科目「簿記論・財務諸表論」番匠谷一也（経済学科4年）
●日商簿記検定「2級」小川恭明（経営学科4年）、柳田舞子（経営学科4年）、植村岳史（経営学科3年）、森永健太（経営学科3年）、加藤優大（ビジネス情報学



資格表彰者

で苗への水やりを継続して行うことは、実はとても難しい。環境保全と人々の生活を両立させるよう、植える木は実から油を採取できる種を選ぶことで、大きな成果を得ているという。参加した竹友大騎さん（経営学科1年・広島県・西条農業高校出身）は、「地球も人も、利益を享受し合えることが大切だと実感。ここでの経験は、私が所属する、「武田山まちづくりプロジェクト」に活かして、日本の環境保全と地域活性化に取り組みたい」と熱く語った。



植樹をする竹友さん(右)

挑戦と成長の日々 インターンシップ報告

本学では企業や公共機関などでの就業体験に取り組み機会を多くの学生に提供している。ここでは、国内、海外での研修や、「スポーツビジネス」に特化した本学独自のインターンシッププログラムに取り組んだ学生の体験報告を紹介する。

海外インターンシップ



経営学科3年 出穂 千晶さん
山口県/岩国高校出身

憧れの海外& 旅行業界を体験

海外に興味をもったのは、大学で留学生と友達になったことがきっかけです。彼らから母国の話しを聞いたり、写真を見せてもらったりするなかで「私も海外に行ってみよう」と思うようになりました。また、以前から旅行業界での仕事に興味があり、旅行会社の業務を経験してみたいと思



研修に励む出穂さん

は、海外インターンシップの業務を経験してみたいと思

への参加を決めました。研修先は、H.I.S.のカナダ支店。現地での課題の一つは、カナダの観光地について調べ、日本のH.I.S.で働く営業課の方々に伝えるための資料を作成することでした。そのため、観光情報を調べたり、実際に現地を訪れたりして、私が感じたカナダの魅力やプレゼンテーションの資料にまとめました。その他にも、来店されたお客様の窓口へのご案内や、社員の方が接客していた様子を見学させていただきました。また、電話対応や日本語の旅行パンフレットの英語翻訳、ツアー商品を紹介するホワイトボードの装飾などさまざまな業務を経験しました。

なかでも一番印象に残っているのは、英語での電話対応です。対面で話す場合はジェスチャーを交えて用件を伝えることができました。電話は顔が見えない分、より正確な言葉を伝える力が必要で、お客様の話方が早く聞き取れず何度も聞き直したり、私の発音が相手に伝わらず、言いたいことを理解してもらえずに電話を切られてしまったことも



スポーツ経営学科2年 岩佐 采さん
愛媛県/新居浜東高校出身

スポーツイベントの企画運営に挑戦

サッカー観戦が大好きで、地元のクラブチームである愛媛FCの試合をよく観に行っていました。「愛媛FCにもっと興味を持ってもらいたい、サッカーで愛媛を盛り上げたい」と中学生のころからそんな思いを抱いていた私にとって、今回の愛媛FCでの就業体験はまさに絶好のチャンスで



愛媛FCの新作グッズをPRする岩佐さん(キャラクター金太くんの左隣)

今回の経験から見えてきた自分の課題を踏まえ、今後の大学生活でも運動部プロジェクトや留学生との交流のなかでさらなる成長をめざしたいと思っています。

国内インターンシップ



ビジネス情報学科2年 田坂 陽介さん
広島県/広島工業大学高校出身

協働することの大切さを学んだ

仕事について何も知らない状態で、果たして満足な就活ができるのだろうか。また、就職した企業に定年

に鍛えていき、自ら積極的に行動して問題の解決に貢献できる力を大きく伸ばしたいと思っています。そして、スポーツに関わる仕事に就きたいという未来を、そうした学びのなかでより確かなものにできればと思っています。

も、私が「もっと働きたい！」という意思を伝えたからこそ。社会で生きていくうえで必要となる基本姿勢を、ここで学ぶことができたように思います。

研修先ではホームゲームの広報活動や当日準備などを体験。試合当日は夏場の厳しい天候に加え、体力の必要な業務ばかりだったのが本当に大変でしたが、夢だったサッカーイベントの現場に関わる機会を思いっきり楽しみました。また、サッカーに興味がない人に興味を持ってもらうことをテーマに、「大学生無料パスツアー」という企画を立て、期間中、スタッフの方からは「自分の意思を伝える大切さ」を教えていただきました。研修期間を延長してレイブスターチームに関わる機会を与えていただいた

も、私が「もっと働きたい！」という意思を伝えたからこそ。社会で生きていくうえで必要となる基本姿勢を、ここで学ぶことができたように思います。

母校の広島経済大学に籍を置くことになって、6年目になる。思い起こせば、6年前、高等学校の教頭から転身するには、相当の覚悟が必要だった。赴任した初日に、石田理事長からは「研究と教育の二つを普通にやってください」と言われた。この「普通」というのが難しいのであるが、「あまり無理をしないように」という意味だと解釈している。研究論文の方は、高等学校の教育に関する様々なテーマについて、自分の経験してきたことをベースにして色々な文献を参考にし

随想

「新鮮さを求めて」



餅川 正雄

ながら書いている。3か月に1本のペースを守り、これまで22本以上書いたと思う。私は、51歳という年齢でスタートした分、「下手な鉄砲も...」という気持ちがあつて、文字通り4倍速で書いているが、これが普通になってきた。研究については、中川教授や岡教授から貴重な有益なアドバイスを頂いており、心より感謝している。授業の方は、神田教授や田中教授の丁寧な指導を受けながら、教職課程を担当させていただいている。これまで主に商業科教育法

で、上田教授が主担当である「教養特別講義」は一般の方の聴講も多くあるが、学生達の受講態度については、「鬼面」で厳しく指導している。しかし、心は常に学生に寄り添って「経大生のプライドを持って欲しい」という気持ちの「仏心」でいっぱいである。

保護者会秋季役員会開催



挨拶をする出野保護者会長

平成25年度保護者会秋季役員会が、出野保護者会会規約第11条により、保護者会総会の代行となるものである。役員会では、出野会長の挨拶に続き、前川学長(名誉会長)から「大学改革」としてカリキュラムの見直し、女子学生支援など具体的な取り組みについて報告があった。続いて、柳川学務センター部長から、退学者の傾向と対策について、また学生諸活動について報告があった。田中教育・学習支援センター部長から、学習ラウンジの開設や出席不良者へのフォローについて説明があり、川村キャリアセンター部長からは、9月末時点での内定状況の報告(73.1%、昨年比8.6%のアップ)、上重入試・広報戦略室長からは、平成25年度の入試結果について報告があった。中村興動館副館長からは、海外プロジェクトを中心とした活動報告があった。最後に木村総務部長から、平成26年度新入生から授業料等の徴収方法を自動振替とする件について説明がなされ、役員会を終了した。

学生考察お菓子の詰め合わせインターネットで販売

フレスタ共同企画おかつしー

広島のお菓子メーカーであるフレスタ（広島市西区）の通販部門「コンテ・フレスタ」との共同企画で、本学の細井ゼミの学生8名がお菓子の詰め合わせ商品を開発した。商品名は「なつかしお菓子おかつしー」。



「なつかしお菓子おかつしー」を企画した細井ゼミナール

お菓子を大人になっても楽しんでほしいと考案された商品で、お菓子を囲んで自然と笑い声があふれるシーンをイメージし、「可笑（おか）しい」と「お菓子」を掛けあわせてネーミングを考案。10月からインターネットでの販売を開始した。

商品開発においては、インターネット上でお菓子の人気投票を実施。人気が高かったものを詰め合わせるなど、消費者ニーズに沿った商品をめざした。

細井ゼミの小田涼太郎さん（経済学科3年・広島県/祇園北高校出身）は、「人気投票を行う前は、投票に参加する人が集まるか不安でした。できるだけ多くの人に興味を持ってもらえるように、エンタリーするお菓子の紹介コメントには、商品の特徴と合わせて私の幼いころの思い出を紹介するなど工夫を凝らしました。その結果、多くの方に投票していただくことができました。また、「私もこのお菓子が大好きでした」と共感のコメントをもらったときは感激しました」と語った。

実際の商品が、風呂敷を着せられた袋に入ったお菓子の詰め合わせです。このお菓子の詰め合わせは、ネット販売だけでなく、店頭でも販売しています。お菓子の詰め合わせは、ネット販売だけでなく、店頭でも販売しています。

「なつかしお菓子おかつしー」は、企画段階から多くのメディアに取り上げられ、新聞やラジオ、テレビなどで紹介された。さらに、同ゼミの学生がプロモーションビデオを作成し、インターネットの動画共有サイトで紹介するなど、積極的にプロモーション活動を行い、販売前から注目を集めた。

「商品開発のノウハウだけでなく、インターネットを活用した広報活動を実践的に学ぶことができ、実践の経験は、今後の活動だけでなく、社会に出てからも活かしていきたいと思っています」と小田さん。学生たちの挑戦はこれからも続いていく。

「なつかしお菓子おかつしー」は、企画段階から多くのメディアに取り上げられ、新聞やラジオ、テレビなどで紹介された。さらに、同ゼミの学生がプロモーションビデオを作成し、インターネットの動画共有サイトで紹介するなど、積極的にプロモーション活動を行い、販売前から注目を集めた。

広報活動も活発に展開

「なつかしお菓子おかつしー」は、企画段階から多くのメディアに取り上げられ、新聞やラジオ、テレビなどで紹介された。さらに、同ゼミの学生がプロモーションビデオを作成し、インターネットの動画共有サイトで紹介するなど、積極的にプロモーション活動を行い、販売前から注目を集めた。

「商品開発のノウハウだけでなく、インターネットを活用した広報活動を実践的に学ぶことができ、実践の経験は、今後の活動だけでなく、社会に出てからも活かしていきたいと思っています」と小田さん。学生たちの挑戦はこれからも続いていく。

「なつかしお菓子おかつしー」は、企画段階から多くのメディアに取り上げられ、新聞やラジオ、テレビなどで紹介された。さらに、同ゼミの学生がプロモーションビデオを作成し、インターネットの動画共有サイトで紹介するなど、積極的にプロモーション活動を行い、販売前から注目を集めた。

「商品開発のノウハウだけでなく、インターネットを活用した広報活動を実践的に学ぶことができ、実践の経験は、今後の活動だけでなく、社会に出てからも活かしていきたいと思っています」と小田さん。学生たちの挑戦はこれからも続いていく。

「なつかしお菓子おかつしー」は、企画段階から多くのメディアに取り上げられ、新聞やラジオ、テレビなどで紹介された。さらに、同ゼミの学生がプロモーションビデオを作成し、インターネットの動画共有サイトで紹介するなど、積極的にプロモーション活動を行い、販売前から注目を集めた。

本学主催 広経大カップ

11月30日、12月1日の2日間、本学の石田記念体育館および野球場サッカーグラウンドにおいて、広経大カップ（中学校バスケットボール大会・軟式野球大会・サッカー大会）を開催した。

この大会は安佐南区内の中学校生徒に広くスポーツの機会を与え、スポーツ技術の向上、フェアプレイの精神を学ぶこと、心身ともに健康な中学校生徒を育成すること、そして中学校生徒の相互の親睦を図ることを目的とし、年1回、開催している。

今年度は、バスケットボールに13校498名（男子11チーム・女子10チーム）、サッカーに13校347名（男子12チーム・女子12チーム）、軟式野球に12校287名（男子12チーム）が参加し、来場者数は大会参加者と観戦者をあわせて約1300人の盛り上がりを見せ、選手が全力で戦う白熱の試合に会場が沸いた。

企画・運営は、スポーツ経営学科の3年生24名が中心となり、授業で学んだ知識を実践に活かす貴重な場となっている。

大会実行委員長を務めた藤山聖也さん（スポーツ経営学科3年・広島県/高陽）は、「大会を通じて、中学校関係者からも喜びの声が届いている。地域と連携したイベントのなかで成長する学生たちの今後に注目していきたい。」と語った。

私のゼミナール 雑感

66 堂本 絵理

本学の教員になって5年になる。私が大学3年生でゼミ配属になった時は、授業以外の時はゼミ室にいて研究するというのが当たり前だった。朝9時にゼミ室へ行き、授業以外はゼミ室で研究していた。大学院生になると、学会発表や論文提出の期限に追われ、ほぼ毎日ゼミ室にこもっていた。それを5年間続けた。今思えば、あの経験が出来たからこその、今の自分があると思う。

すこく大変なことであり、プレッシャーでもあったと思う。年末までに書き上げるまでかかってしまった。今まで自分が論文指導される立場だったが、いざ指導する感させられた。全員提出に届かなかったものの、最後に学生の本来の取り組み姿勢を見る事が出来、とてもよかったです。今年規定の中で指導をしているが、過去の経験もあり、順調に進んでいる。より良い論文を提出し、全員で笑って卒業できるよう頑張っていきたい。

学生とともに歩む



「なつかしお菓子おかつしー」は、企画段階から多くのメディアに取り上げられ、新聞やラジオ、テレビなどで紹介された。さらに、同ゼミの学生がプロモーションビデオを作成し、インターネットの動画共有サイトで紹介するなど、積極的にプロモーション活動を行い、販売前から注目を集めた。

「商品開発のノウハウだけでなく、インターネットを活用した広報活動を実践的に学ぶことができ、実践の経験は、今後の活動だけでなく、社会に出てからも活かしていきたいと思っています」と小田さん。学生たちの挑戦はこれからも続いていく。

「なつかしお菓子おかつしー」は、企画段階から多くのメディアに取り上げられ、新聞やラジオ、テレビなどで紹介された。さらに、同ゼミの学生がプロモーションビデオを作成し、インターネットの動画共有サイトで紹介するなど、積極的にプロモーション活動を行い、販売前から注目を集めた。

「商品開発のノウハウだけでなく、インターネットを活用した広報活動を実践的に学ぶことができ、実践の経験は、今後の活動だけでなく、社会に出てからも活かしていきたいと思っています」と小田さん。学生たちの挑戦はこれからも続いていく。

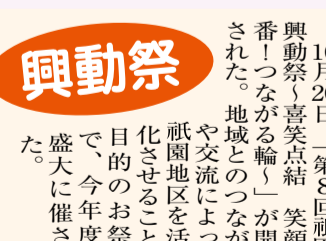
「なつかしお菓子おかつしー」は、企画段階から多くのメディアに取り上げられ、新聞やラジオ、テレビなどで紹介された。さらに、同ゼミの学生がプロモーションビデオを作成し、インターネットの動画共有サイトで紹介するなど、積極的にプロモーション活動を行い、販売前から注目を集めた。

「なつかしお菓子おかつしー」は、企画段階から多くのメディアに取り上げられ、新聞やラジオ、テレビなどで紹介された。さらに、同ゼミの学生がプロモーションビデオを作成し、インターネットの動画共有サイトで紹介するなど、積極的にプロモーション活動を行い、販売前から注目を集めた。

経大祭

11月2日、3日の両日、第46回経大祭が開催された。テーマは「JUNCTION」(絆)。今年度は会場を情報センター前グラウンドに移し、雨の中、例年以上に充実した内容で催された。

写真でみる 学生たちによる 広経大 二大祭典



高校出身)は、「選手たちが一生懸命プレーしてくれ、たかが本場に嬉しかったです。授業ではスポーツイベントの運営やリスクマネジメントについて学んでいますが、いざ現場に出てみるとその実践の難しさを痛感しました。現場で学んだことを活かして、今後も多くの人がスポーツを楽しめる環境を作っていききたいと思います」と語った。

大いに盛り上がった今回の大会に関して、中学校関係者からも喜びの声が届いている。地域と連携したイベントのなかで成長する学生たちの今後に注目していきたい。」と語った。

「なつかしお菓子おかつしー」は、企画段階から多くのメディアに取り上げられ、新聞やラジオ、テレビなどで紹介された。さらに、同ゼミの学生がプロモーションビデオを作成し、インターネットの動画共有サイトで紹介するなど、積極的にプロモーション活動を行い、販売前から注目を集めた。

「商品開発のノウハウだけでなく、インターネットを活用した広報活動を実践的に学ぶことができ、実践の経験は、今後の活動だけでなく、社会に出てからも活かしていきたいと思っています」と小田さん。学生たちの挑戦はこれからも続いていく。

「なつかしお菓子おかつしー」は、企画段階から多くのメディアに取り上げられ、新聞やラジオ、テレビなどで紹介された。さらに、同ゼミの学生がプロモーションビデオを作成し、インターネットの動画共有サイトで紹介するなど、積極的にプロモーション活動を行い、販売前から注目を集めた。

CIRCLE-INFO!



平和の大切さを伝えよう!
Peace Network 愛好会
Peace Network 愛好会では、「平和のために、自分などできること何かも」という仲間ととも考えています。主な活動は、週に一度の討論会。「沖縄・普天間基地の問題」「広島から平和のメッセージを発信していくために必要なこと」など戦争に関する議論だけでなく、「家畜の伝染病と食の安全」といった時事や各自が興味を持っていることなど、平和をキーワードにさまざまな問題を扱います。真剣に互いの考えをぶつけ合うなかで、異なる意見や価値観に触れることができるのが魅力です。さらに、私たちは一人でも多くの人に平和について考えてほしいと思っており、そのきっかけづくりとして、大学祭ではパネル展示や平和についてのアンケートを行っています。この展示では、自分たちの思いを一方的に発信するのではなく、見てくださる方々との対話を大切にしています。大学祭には地域の方々も来てくださるので、学生とは異なる視点や意見をいただける貴重な学びの場となっています。

人前で話すのが苦手という人も大丈夫! 毎回の討論会で少しずつでも自分の意見を伝えていくことで、考える力や伝える力を磨くことができます。自分を成長させたいと思う人は、ぜひ参加してください。広島で学ぶ学生として、平和の大切さを伝えていく使命感を持ってこれからも活動に取り組んでいきます。

活動日・時間/水(17:00~)
場所/学内
活動内容/ 討論会、大学祭での展示やアンケートなど

サークル戦績

ソフトボール部
▽文部科学大臣杯第48回全日本大学ソフトボール選手権大会出場
卓球部
▽第80回全日本大学総合卓球選手権大会出場【シングルズ】岡本義崇

陸上競技部 中四国学生駅伝2年連続13度目の優勝!
12月1日、山口市内において開催された第57回中四国学生駅伝競走大会において、陸上競技部が2年連続13度目の優勝を果たした。今大会の優勝を果した。再び平成26年10月出雲市で行われる出雲全日本大学選抜

私の就職活動体験記

強い意志で、部活動と両立

就職先 KDDI株式会社



経済学科4年 大西 和貴さん
山口県・華陵高校出身

就職活動で一番苦労したのは部活動との両立です。企業研究や筆記試験対策、エントリーシートの作成などに取り組みながら、週6日は部活動にも参加していました。インターネットでの情報収集などは隙間の時間に行い、キャリアセ

ンターのガイダンスも可能な限り参加して、段階的に就職活動への理解を深めました。企業の説明会と部活動のスケジュールが重なっている場合はどちらかを選択する必要があります。伝えたいことをしっかりと語ることはどの面接でも同じです。大切なのは、本当に就きたい仕事であるという熱意を伝え、また大学生活で得たことを強くアピールすること。自分の大学生活が人に誇れるようなもの

であれば、その自信は面接でも伝わると思います。その意味でも、僕にとって部活動を頑張ってきたことは、自信を持って臨んでいけると思っています。

憧れていた業界への進路を実現

就職先 株式会社ヒロテック



情報学科4年 岡崎 光希さん
広島県・広島観音高校出身

私は早くから大好きな自動車に関わる業界に進みたいと考えていました。2年次後期のゼミでは自動車の国内メーカーの戦略や特長を技術面から分析。3年次ではもう少し視野を広げて業界を分析し、就職活動



ビジネス情報学科4年 岡崎 光希さん
広島県・広島観音高校出身

私は就職活動が迫った3年次の秋、まずは就職情報サイトで業界研究や企業研究を始めました。なるべく詳しい企業情報に触れたほうが進路先の決定に役立つと思い、『広島企業年鑑』や『四季報』も活用。さらにキャリアセンターのプログラムを活用し、OB・OG会に出席して「仕事の実際」を理解するように努めました。11月ごろには希望の職種を何種類か絞れるようになり、自分の希望に合う会社をリストアップしていききました。そして、企業の採用情報が広報される12月から企業説明会や合同説明会に参加。2月ごろから採用へのステップが本格化していききました。

て下調べが遅れましたが、企業サイトの採用情報ページを通じて2月ごろに電話で直接説明会への参加を申し込みました。希望する進路を実現するチャンスはい

自己分析が夢の実現への第一歩

就職先 株式会社フタバ図書



ビジネス情報学科4年 岡崎 光希さん
広島県・広島観音高校出身

重復しないように慎重に調整するようにはしていましたが、どうしても重複してしまい、参加できない面接や説明会もありました。そこでどのよう

るいろいろなところにあると思うので、これから就職活動に取り組み方はそれを見逃さないように、頑張つて欲しいと思います。

キャリアアセンターをフル活用

就職先 株式会社三井住友銀行



経営学科4年 前川 瑞希さん
愛媛県・新居西高校出身

私は3年次の夏休みからいから、就職情報サイトや業界マップを活用して業界研究を開始しました。個別の企業についてもインターネットなどで情報を集めました。私はインターネット

などが課されるケースもありました。採用試験では、それぞれの選考に沿った対策が必要で、企業に関する理解度も高めておく必要があります。例えば、面接では「同業種でもなぜ我が社を志望するのか？」といった質問をよく受けました。これは業界や個別の企業

心の準備と切り替えが大切

就職先 株式会社エディオン



国際地域経済学科4年 出雲 駿さん
広島県・広島新庄高校出身

私は3年次の10月ごろから、興味があった業界を中心に情報を収集しました。キャリアアセンターが主催するガイダンスには必ず参加し、とにかく質問を積極的に「企業」と「仕事」について理解しようと努めました。また、最初のうちは企業や業界についてインター

十分な自己分析や業界の知識といった事前準備が不可欠です。僕はキャリアアセンターの方に履歴書やエントリーシートを添削してもらったことで、自己を見つめ直す機会を得ることができました。自分と向き合い真剣に考えて準備したことは、その後の就職活動に大いに役立ちました。

就職支援強化・就職活動利便性向上のため

立町キャンパス（広島市中区）にキャリアアセンター立町サテライト・オフィス（仮称）を設置



立町キャンパスに設置されたサテライトオフィス（仮称）

12月1日からの就職活動解禁に合わせて、広島市立町キャンパスに立町サテライト・オフィス（仮称）を設置しました。オフィスには、企業の履歴書様式が印刷できるインターネット完備のパソコンやプリンターを設置。服装チェックのための姿見や、就職情報紙なども置く。設置の目的は、企業が集中する市内中心部に位置する「立町キャンパス」を、本学学生が企業訪問などの合間に立ち寄り、「一息つける場所」として、また、学生同士の情報交換や収集など、有効活用してもらうことである。

卒業生は今

平成25年司法試験に合格！法曹として社会貢献をめざします。



司法修習生 田島 佑介さん
経営学科 平成20年3月卒業

広島経済大学に入学した当初は明確な将来の目標はなく、自分が法曹をめざすとは思っていませんでした。しかし、経営学の専門科目をはじめとする多様な授業を受け、また数多くの書籍を読むなかで、ビジネスの課題や市民生活におけるトラブルの解決などに力を発揮できる「法曹の仕事」にいつしか興味を持つようになりました。実際に法科大学院への進学を決めたのは4年次になろうとする時期。法的な思考法や知識を少しでも身につけよう

12月から企業の説明会が始まり、そこから採用に関する取り組みも活発になっていきました。履歴書や

なかつたのですが、説明会などで実際に企業の方にお話し

なかつた。不採用となること

平成26年度 学生募集要項

学部および大学院の募集要項を配付しています。お申込みは下記までハガキ・電話・メールなどで。
〒731-0192 広島市安佐南区紙国五丁目37番1号
(学部・大学院) 入試課 ☎082-871-1313 / Eメール int-sc@hue.ac.jp
(留学生) 国際交流室 ☎082-871-1002 / Eメール int-sc@hue.ac.jp

■大学院 博士課程前期課程 [一般選抜]

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程[研究者養成コース・経済学専攻コース]10名(外国人留学生、社会人特別選抜、国外受験者、外国人留学生指定校推薦を含む) |
| 出願期間 | Ⅱ期=平成26年1月24日(金)~2月12日(水)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | Ⅱ期=平成26年2月20日(木)・21日(金) |
| 合格発表 | Ⅱ期=平成26年2月26日(水)午前10時 |

【社会人特別選抜】

| | |
|------|---------------------------------------|
| 募集人員 | 経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程(修士) [経済学専攻コース]若干名 |
| 出願期間 | Ⅱ期=平成26年1月24日(金)~2月12日(水)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | Ⅱ期=平成26年2月21日(金) |
| 合格発表 | Ⅱ期=平成26年2月26日(水)午前10時 |

【学内特別選抜】(学部との5年プログラム試験)

| | |
|--------|-----------------------|
| 募集人員 | 3名程度(外国人留学生を含む) |
| 出願期間 | 平成26年1月27日(月)~2月5日(水) |
| 試験・選考日 | 平成26年2月27日(木) |
| 合格発表 | 平成26年3月4日(火) |

■大学院 博士課程後期課程

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学研究科経済学専攻博士課程後期課程(研究者養成コース)3名(外国人留学生、国外受験者を含む) |
| 出願期間 | 平成26年1月24日(金)~2月12日(水)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 平成26年2月20日(木) |
| 合格発表 | 平成26年2月26日(水) 午前10時 |

■学部 資格スカラシップ推薦入学試験(2期・3期)

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学部/経済学・経営学・ビジネス情報学・メディアビジネス学・スポーツ経営学 若干名 |
| 出願期間 | 平成26年1月6日(月)~1月24日(金)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 平成26年2月6日(木) |
| 合格発表 | 平成26年2月17日(月)午後3時 |
| 出願期間 | 平成26年2月18日(火)~3月3日(月)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 平成26年3月11日(火) |
| 合格発表 | 平成26年3月14日(金)午後3時 |

■学部 一般入学試験(1期・2期)

| | |
|------|---|
| 募集人員 | 経済学部/経済学105名、経営学100名、ビジネス情報学25名、メディアビジネス学25名、スポーツ経営学25名 |
| 出願期間 | 平成26年1月6日(月)~1月24日(金)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 平成26年2月6日(木)・7日(金) |
| 合格発表 | 平成26年2月17日(月)午後3時 |
| 募集人員 | 経済学部/経済学20名、経営学20名、ビジネス情報学5名、メディアビジネス学5名、スポーツ経営学5名 |
| 出願期間 | 平成26年2月18日(火)~3月3日(月)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 平成26年3月11日(火) |
| 合格発表 | 平成26年3月14日(金)午後3時 |

※試験日自由選択制 2月6日・7日の試験日をどちらか、又は両日とも選択できません。両日とも同一学科を受験した場合は、高得点の方で選考します。
※複数学科併願制 1回の受験で5学科まで出願できます。

■学部 入試センター入学試験(1期・2期)

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学部/経済学40名、経営学40名、ビジネス情報学10名、メディアビジネス学10名、スポーツ経営学5名 |
| 出願期間 | 平成26年1月6日(月)~1月31日(金)【締切日消印有効】 |
| 合格発表 | 平成26年2月17日(月)午後3時 |
| 募集人員 | 経済学部/経済学10名、経営学10名、ビジネス情報学5名、メディアビジネス学5名 |
| 出願期間 | 平成26年2月18日(火)~3月3日(月)【締切日消印有効】 |
| 合格発表 | 平成26年3月11日(火) |

※複数学科併願制 1回の受験で1期は5学科、2期は4学科まで出願できます。

■学部 社会人入学試験

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学部/経済学・経営学・ビジネス情報学・メディアビジネス学・スポーツ経営学 若干名 |
| 出願期間 | 平成26年2月18日(火)~3月3日(月)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 平成26年3月11日(火) |
| 合格発表 | 平成26年3月14日(金)午後3時 |

※社会人入学試験を希望する者は、入試課(082-871-1313)までお問い合わせください。

■学部 外国人留学生公募制推薦入学試験

| | |
|------|-----------------------------------|
| 募集人員 | 経済学部/経済学・経営学・ビジネス情報学・メディアビジネス学 6名 |
| 出願期間 | 平成25年12月9日(月)~12月24日(火)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 平成26年1月5日(日) |
| 合格発表 | 平成26年1月9日(木)午後5時 |

※複数学科併願制 1回の受験で3学科まで出願できます。

■学部 外国人留学生入学試験(国内志願者)(1期・Ⅱ期)

| | |
|------|--|
| 募集人員 | I・Ⅱ期=経済学部/経済学・経営学・ビジネス情報学・メディアビジネス学 若干名 |
| 出願期間 | I期=平成26年1月6日(月)~1月29日(水)【締切日消印有効】 Ⅱ期=平成26年2月3日(月)~2月21日(金)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | I期=平成26年2月10日(月) / Ⅱ期=平成26年3月3日(月) |
| 合格発表 | I期=平成26年2月17日(月)午後5時 Ⅱ期=平成26年3月6日(木)午後5時 |

※複数学科併願制 1回の受験で2学科以上出願することが可能です。

平成26年度推薦入試結果報告

平成26年度推薦、編入学試験を11月20日に実施した。また、9月には、AO入学試験を実施した。以下の表を入試結果として報告する。

平成26年度AO入学試験結果

| 入学試験 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 競争率 |
|------|------|------|------|------|-----|
| AO | 20 | 24 | 23 | 6 | 3.8 |

平成26年度推薦入学試験結果

| 入学試験 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 競争率 | |
|----------|------------|------|------|------|-----|-----|
| スポーツ | 35 | 61 | 59 | 51 | 1.2 | |
| 特定資格 | 15 | 11 | 11 | 11 | 1.0 | |
| 文化・社会 | 10 | 4 | 4 | 4 | 1.0 | |
| 海外経歴 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | |
| 合計 | 62 | 76 | 74 | 66 | 1.1 | |
| 資格スカラシップ | 若干名 | 4 | 4 | 4 | 1.0 | |
| 一般公募 | 経済学科 | 55 | 111 | 110 | 73 | 1.5 |
| | 経営学科 | 50 | 131 | 131 | 85 | 1.5 |
| | ビジネス情報学科 | 10 | 35 | 35 | 27 | 1.3 |
| | メディアビジネス学科 | 10 | 16 | 16 | 11 | 1.5 |
| | スポーツ経営学科 | 10 | 42 | 42 | 19 | 2.2 |
| 合計 | 135 | 335 | 334 | 215 | 1.6 | |

平成26年度編入学入学試験結果

| 入学試験 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 競争率 |
|------|------|------|------|------|-----|
| 編入学 | 若干名 | 3 | 3 | 1 | 3.0 |

秋の叙勲

本学三宅勝次教授が秋の叙勲において「旭日双光章」を受章



三宅勝次教授

三宅勝次教授は長年のスポーツの振興に寄与したとして授与したものである。三宅勝次教授は平成21年4月より公益財団法人日本陸上競技連盟副会長及び公益財団法人日本オリンピック委員会評議員に就任している。

平成25年秋の叙勲の受章者が発表され、本学三宅勝次教授が「旭日双光章」を受章した。これは

保護者様向けメールマガジン配信中 (通称:HUE(ヒュー)メル)

本学では、広島経済大学の最新情報を月初めにメールマガジンに配信しています。ぜひ、ご登録のうえご覧いただき、広島経済大学および学生たちのことを知る一助にいただければと思います。保護者のみなさまの多数のご登録をお待ちしております。

【登録は広島経済大学ホームページから】



【配信内容】
・今月の行事
・先月のNEWS&TOPICS
・クラブ&サークル
・HUE知って情報 など

BOOKS

◆広島経済大学経済研究論集 第36巻 第2号(2013年9月)

| | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 【論 説】 | |
| 映画祭のインターナショナルマーケティング | 矢澤 利弘(教授) |
| 「ゲーム」の消費と資金的価値 —スポーツの消費と購買— | 永田 晴(教授) |
| スマートフォン市場におけるロイヤリティ戦略の検証 | |
| —Appleの成長戦略(1)— | 山本 雅昭(教授) |
| 沖縄における企業の生成・発展に関する史的考察 | 山内 昌斗(准教授) |
| | 上間 創一郎(沖縄女子短期大学非常勤講師) |
| | 城間 康文(阪南大学非常勤講師) |

| | |
|---------------------------|------------|
| 【研究集会報告】 | |
| 市場経済の役割、市場の失敗とコミュニティ政策の視点 | 中嶋 則夫(准教授) |

◆広島経済大学研究論集 第36巻 第2号(2013年9月)

| | |
|-----------------------------|------------|
| 【論 説】 | |
| スポーツ基本法の処方箋 —新福祉国家— | 内海 和雄(教授) |
| 「ノモス」と「ピュニス」 | |
| —古代思想から近代思想へのその展開— | 大田孝太郎(教授) |
| 中学校の進路指導に関する研究 | 餅川 正雄(教授) |
| 「倫理」カリキュラムの改善 | |
| —市民的資質育成の観点から— | 胤森 裕暢(准教授) |
| ICT利用によるデータ収集ならびに感性時系列データ分析 | 堂本 絵理(助教) |
| 【翻 訳】 | |
| マイクハギズ教授講演ノート「スポーツツーリズム」 | 松本 耕二(准教授) |
| | 岡安 功(准教授) |
| | 渡辺 泰弘(助教) |
| | 内海 和雄(教授) |

◆広島経済大学経済研究論集 第36巻 第3号(2013年12月末刊行予定)

| | |
|---------------------|--------------|
| 吉田義宏教授 写真・略歴・業績 | |
| 献辞 吉田学校よ、永遠に | 一橋 信之(教授) |
| 【論 説】 | |
| 中国の産業安全論とその政策的反映(中) | 片岡 幸雄(教授) |
| 胡 炬(南条装龍工業株式会社) | |
| 集落営農法人の成長要因に関する一考察 | 山本 公平(准教授) |
| —広島県と大分県の実態調査を中心に— | 森 宗一(別府大学講師) |

| | |
|-----------------------------------|-----------|
| 【研究ノート】 | |
| 日本のスポーツ関連企業の自己資本利益率格差に関する産業組織論的考察 | 松水 征夫(教授) |
| 株式会社設計思想に関する主要概念 | |
| —主要経営機関の日本比較— | 高岡 義幸(教授) |

| | |
|----------------|-----------|
| 【研究集会報告】 | |
| 中山間地域における地域づくり | |
| —6つの要素と今後の方向性— | 藤谷 則夫(教授) |

◆広島経済大学研究論集 第36巻 第3号(2013年12月末刊行予定)

| | |
|----------------------------------|------------|
| 【論 説】 | |
| 「日本人の災害観と防災文化」再考 | 松井 一洋(教授) |
| 中学校進路指導の視点から見た高等学校教育の現状に関する研究(Ⅰ) | 餅川 正雄(教授) |
| 鹿児島県瀬戸内町と路方言の敬語形式 | 重野 裕美(助教) |
| 【研究集会報告】 | |
| 校内研修としての授業研究の方向性 | |
| —小・中学校現場の取組の工夫から— | 胤森 裕暢(准教授) |

学生の皆さんへ

「論集」の最新号は、1号館玄関図書館・メディア情報センター等に置いてありますので、各自自由に持ち帰ってください。また、バックナンバーをご希望の方は、地域経済研究所まで来てください。

寄付金



高田義典様

平成25年10月、本学元職員の高田義典様より200万円のご寄付をいただきましたことをご報告いたします。高田義典様は昭和57年4月入職、平成3年4月事務局課長、平成11年4月企画管理課長、平成13年4月企画部長、平成13年4月企画部長、平成13年4月企画部長を経て、平成13年4月入試広報室長と企画部長(企画部長平成16年5月31日まで)に就任、平成16年6月には情報センター部長を兼任として務められました。入職から退職されるまで、本館、スポーツセンター、陸上競技場、石田記念体育館、学生会館及び6号館、図書館などの学校施設の建設に携わり、また入試改革や学内システム改革など、本学の発展に尽力されました。高田義典様、ありがとうございました。本学は文部科学省より、寄付金募集について特定公益増進法人の適用を受けています。

「知の系譜」No.32

フック「顕微鏡図」初版 1665年 ロンドン刊
Hooke, Robert, 1635-1703
Micrographa: or some physiological descriptions of minute bodies made by magnifying glasses. With observations and inquiries thereupon.
London: John Martyn, and James Allestry for the Royal Society, 1665 [36],246,[10]p., [37] leaves of plates (some partially folded); ill.; 29cm



フックは、イギリスの物理学者で、精密な実験と厳格な帰納法に基づく実験物理学の方法論を築いた思想家でもある。弾性に関する「フックの法則」の提唱者としても知られており、古今を通じて最も多才ですぐれた科学者の一人であった。天文学、光学および物理学の全部門、力学、工学、建築に対する彼の貢献は数え切れない。1662年には新しく設立された王立協会の実験管理者に任命され、その後死ぬまでイギリスの科学界の中心となった。彼はあらゆる分野での科学研究方法を提案、指示を与え、自身も数多くの実験を行った。フックは、研究成果を著作の形ではわずかしか後世に残さなかったが、その内「顕微鏡図」が最も有名である。この著作は、無機物に始まり、植物体、動物体への研究へと進む57の顕微鏡観察と3つの望遠鏡観察の図を掲載しており、他のいくつかの分野についても非常に重要な科学的観察も記載している。初版は発行部数が少なく、1667年に再刊され、これが内外に普及したが、この時再刊の旨を明記していなかったため、初版と間違えられ1667年出版と記載されているものが多い。

人事

◆教育職

役職就任

平成25年10月22日付「ビジネス情報学学科主任」
山村耕一郎

訃報

名誉教授 藤原健藏(ふじわらけんざう) 平成25年9月6日、ご逝去された。享年82歳。平成7年4月本学に就任、平成10年4月から平成14年3月まで地域経済研究所所長を務められ、平成15年3月の退職まで本学に尽力された。